

# 金融教育の視点を盛り込んだ指導の工夫

## ～格安ハンバーガーの謎を解く～

提案者 石津みどり

キーワード 食の安全 金融教育 キャリア教育

### 1. 技術・家庭科、家庭分野における「深い学び」

技術・家庭科、家庭分野において、今年度の研究主題「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成～「深い学び」の創造をめざして～」は、家庭科の授業で大切にしてきた概念と共通することが多い。生徒が自分の生活をよくするために意欲を持って学び、自分のこととして深く学ぶための学習を積み重ねているからである。そして、家庭生活を営む上で大切な技術の習得として、体験的に学びを深めている。更に、ほかの視点として、他教科や他の視点から学ぶことで、さらに、学びを深めることができると確信している。

### 2. 研究主題設定の理由

本校研究テーマ「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成～「深い学び」の創造をめざして～」を受けて、家庭科の領域である、消費生活の内容を「深い学び」にするため、金融教育の視点、キャリア教育の視点を加えた学びを研究し、授業の構成を工夫する。家庭科は、生活に密着しているので、消費生活に欠かせないお金のこと、そのお金を稼ぐためのこと、日々の消費生活が職業の場に影響を与えることなど、金融教育とキャリア教育の視点を加え、家庭科の「深い学び」を研究する。

### 3. 家庭科の授業実践について

#### 3. 1. 授業・研究の構想

今年度、小金井中学校、技術・家庭科家庭科分野の授業において、金融教育やキャリア教育に関わる内容を取り扱う。題材は、家庭科領域の内容であり、「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成」という本校の研究テーマについても踏襲するものである。

まずは金融教育の関する内容から述べる。日本にいと食の豊かさに目を見張り、何を食べるにも選択肢が多く、金銭に余裕があれば何でも手に入る。しかし、必ずしも、皆が豊かであるとはいえない。子供の六人に一人は貧困といえる時代、食生活に関わる落とし穴に目を向けてみる。そこには、価格を下げるために生じたゆがみが存在する。栄養価を軽んじること、食材に対する安全性の欠落、労働者への負担、品質や産地偽装などの基本的な社会ルールを無視した行為に発展する恐れを感じる。

東京学芸大学の金融教育研究におけるカリキュラム案のキャリア教育に関する内容には、「生活に必要な物資の選択と購入や環境への影響を考えた消費生活」がある。適正な価格の商品の購入についての学習は、生活者として大切な学びである。家庭科の授業の中で、商品の購入が生活を支える賃金につながることを知り、安価なものを求めることが労働者の賃金にも影響がでるのではないかと考えを巡らせ、社会で働くことへ学びを展開させたい。生活を支える仕事は、家族や地域の人々で担っていることであり、それによって生活が成り立っていることも理解させたい。

日常の生活で何気なく行っている食品選びと適正な価格で物を買うことが、どのような影響を社会に及ぼすかを考え、健全な社会づくりのために、社会の一員としての意識を持った生活を営む姿勢をはぐくめる授業を構想した。

#### 3. 2. 題材の目標

- ・ハンバーガーの適正価格を考えようとする。
- ・食品が格安で販売される理由と仕組みについて考える。
- ・自分の食品選びと適正な価格で物を買うことが社会にどのような影響を及ぼすかを理解しようとする。

### 3. 3. 授業の視点

視点1：本校研究テーマ 「学ぶ意欲を持ち、追及していく生徒の育成」

視点2：金融教育として生きる力を育むお金の勉強 （物の価格の裏側を考える）

視点3：キャリア教育として働いて賃金を稼ぐことに関連した学び （物の値段に関わる様々なこと）

### 3. 4. 目標・実践の意図

今回は、キャリア教育の視点を取り入れた家庭科の授業を行った。この授業では、食品の価格を考える学びを基本にし、ハンバーガーの適正価格を考えようとするのをねらった。100円ハンバーガーのように食品の価格が極端に安価の場合、その価格での販売が可能になるしくみについて考えさせたい。食品が格安で販売される理由としくみには、食品の安全・安心や労働者の賃金に関係していることもあるからである。そして、自分の食品選びと適正な価格で物を買うことが、社会にどのような影響を及ぼすかを考えることができる消費者を育みたい。

キャリア教育としては、物の値段に関わる様々なことが、働いて賃金を稼ぐことに関連した学びにつながり、より良いものを消費者に提供したり、間接的でも社会のためになる仕事をしたりするなど、働くことの意義を考えるきっかけにしたい。金融教育としては、生きる力を育むお金の勉強になると考える。この授業では、個人が購入する基準をどのように考えているかを整理するために、ダイヤモンドランキングという手法を取り入れて行うものとする。これは、考えたり、話し合ったり生徒が主体的に活動するアクティブラーニングのひとつである。

### 3. 5. 指導計画

第1次	ハンバーガーから栄養を考えよう (バランスの良い食事をとろう)
第2次	ハンバーガーから食材の価格を考えよう (適正価格とはなにが影響するのだろうか)
第3次	格安ハンバーガーの秘密を考えよう 本時 (どうしたらこんなに安い価格になるのだろうか)
第4次	企業努力と企業の現在・社会奉仕と食の安全について (地球規模で社会を守るには、どうしたらよいだろうか)

### 3. 6. 授業の実際

#### <本時の展開>

①小題材名 格安ハンバーガーの秘密を考えよう

②本時の目標

- ・食品が格安で販売される理由と仕組みについて考える。
- ・格安ハンバーガーの価格の内訳を考えることができる。
- ・自分の食品選びと適正な価格で物を買うことが社会にどのような影響を及ぼすかを理解しようとする。

③本時の展開

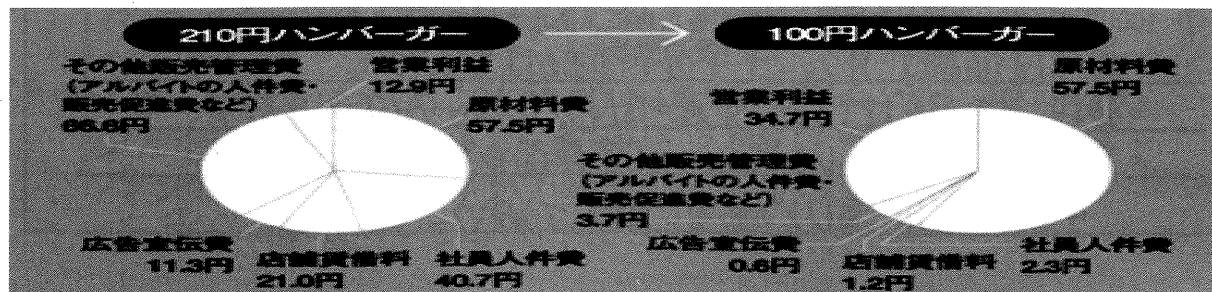
	学習内容	生徒の学習活動	教師の支援他
導入 10分	・前回の授業で学んだ栄養バランスや食材の価格などにふれ、本日の授業でハンバーガーの費用の内訳について学ぶ授業の流れを確認する。	・栄養素の偏りや食材の価格について考えたことを思い出し、実際の価格の内訳について考える。 ・購入の基準を整理するために行うダイヤモンドランキングの手順を知る。	・前回の授業のワークシートや資料を準備する。 ・必要に応じて各自ワークシートに記入する。

<p>展開 35 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンバーガーの価格の内訳を学び、100円バーガーの費用に関わる問題を考える。</li> <li>キーワードで表しワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートにキーワード（アイディアや意見、イメージ）をたくさん書く。</li> <li>記入後に5グループに分かれて話し合い、考えを整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費、店舗にかかる経費、不当労働問題などに関する資料から、班で必要な内容を共有して考えを深める。</li> <li>ランキングはグループでかく。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">食品が格安で販売される理由と仕組みについて考えよう</div>			
<p>まとめ 5 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの8人でキーワードを共有して整理する。</li> <li>100円バーガーの経費など諸問題について、グループ全員のキーワードの中から大切だと思うものを9つ選ぶ。</li> <li>ダイヤモンドランキングをつけ、ホワイトボードシートに記入し、ランキングと理由を発表する。</li> <li>各班でダイヤモンドランキングを書き、発表時に壁に貼るなど提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり12枚の付箋にキーワードを書きだしてグループ内でまとめていく。</li> <li>同じ内容の付箋は重ねて、大切だと思う内容を9つ選択し、話し合いの中で大切にしている項目や順位について考えをまとめていく。</li> <li>100円バーガーに関する他者のいろいろな考えを聞いて、自分の考えを整理する。</li> <li>消費者として単に買うだけでなく費用の一部が人件費などの経費となり、労働者の待遇などの社会問題につながることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさん書く。</li> </ul> <p><b>ブレinstoーミング<sup>1)</sup></b>（テーマに沿って、参加者全員でアイディアや意見、イメージなどをキーワードで出し合う。質より量・批判禁止のルールを確認する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8班が移動し、5つに分かれる。（1・2班、3・4班、8・5班、6・7班、9・10班で話し合う）</li> </ul> <p><b>ダイヤモンドランキング<sup>2)</sup></b>（上位と下位は一つで、中央が複数になるような菱形の順位付け）</p>

注1）ブレinstoーミングは、テーマに沿って、参加者全員でアイディアや意見、イメージなどをキーワードで出し合う手法。たくさん出し合うことが大切で、ほかの人が出したものを批判しない。また、出されたものについての理由や説明も求めないというルールを確認して行う。

注2）ランキングは、用意されたいくつかの選択肢に順位をつけていく手法で、ダイヤモンドランキングは、順位の付け方をダイヤモンド型（上位と下位は一つで、中央が複雑になるような菱形での順位づけ）で行う。

<授業の資料（一部）>



損益計算書をもとに推計。出典：田中靖浩著「よみがえる会計」

# <ハンバーガーの秘密を考えよう>

円ハンバーガーの費用	210円バーガー	100円バーガー
原材料費	57.5 円	57.5 円
社員人件費・店舗賃貸料	61.7 円	3.5 円
その他の経費	66.6 円	3.7 円
営業利益	12.9 円	34.7 円

## <学習の手順> 100円バーガーの問題点を考えよう

① 「格安バーガー」について、問題だと思うこと（アイデアや意見、イメージなど、感じたことや考えたこと）を書きましょう。とにかくたくさん書く。（たくさん書いたらグループになる。）

- ・人件費が100円のEと2.3円と、38.4円も安い。10人件費が2.3円で、やて
- ・100円の方が安いのに利益は少なくなっている。11けるのか？
- ・原材料費は同じ → 高ければ安くしてはならない？ → たくさん売れればいい？
- ・広告費も0.8円も安い。→ 広告しなくてももうかる。210円に人件費が安い？
- ・その他も210円は66.6円なのに100円は3.7円。くには、20.5倍売れなければならぬ。
- ・たくさん売ることでもうかっている。
- ・材料費が同じなら、どちらかが高級な訴求にできる。あまりにも安いと逆に信用できなくなりそう。

② ①の中から「特に大切にしたいこと」を10～12選んで付箋に書きましょう。

③ グループのみんなから付箋を集めて同じものは重ね、話し合いながら整理しましょう。

④ グループの中で9つに絞り、ランキング（ダイヤモンドランキング）を付けましょう。

⑤ グループの話し合いの中で他人の意見を聞いてどんなことを考えましたか。

・安すぎるもの → 大量生産している → 安全性に欠けるのではない？

・210円/100円 材料費は変わらぬ。→ 味は同じ？

・安すぎるものは、あまり信用できない。

・でも、一番大切なのは、安全性ではなく味？

⑥ 他のグループの発表を聞いて、新しい発見はありましたか。

・一番重要なのは、味。他は、量や値段。安全性は優先順位が低かった。

・量など含む、見た目も大切。→ 見おとりするものは食べたくない。

・生産工程、作業工程も大切。→ 衛生面とつながる。安全にという点。

・材料の生産場所も入っている。→ 外国産の安い肉より、国産肉の方が安全、おいしい。  
⇒ ほとんどのものが、味、安全性とつながっている。

⑦ 100円バーガーに関わる問題を解決するために、あなたができることは何ですか。

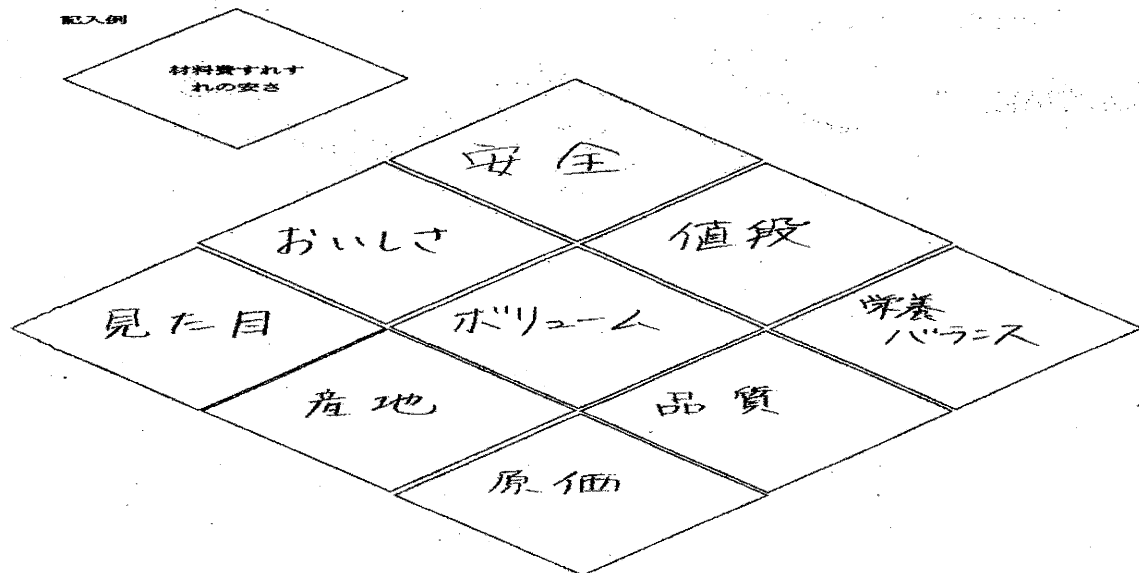
・適切な価格で買う。→ 安すぎるものは買わない。

・値段、見た目だけでなく、生産地などもチェックしてえらぶ。

・栄養バランスも考慮して買う。→ 健康面も重視して。

→ 安い、甘い、脂質などの病気に陥ってしまう。

生徒のワークシート②



生徒のワークシート③

感想

どこの班もやはり、一番大切なのは、安全面だと思っている。  
 なので、とれたけ、高い値段だとしても、やはり、不衛生なもの  
 や、おいしくないものは、食べたくないと思っているというところ。  
 でも、マックなどのポテトやバーガーは、実際どのようにつくら  
 れているのか、分からないので、そのような企業は、も、お客様に  
 教えるべきだと思われる。

味、量が良いと云は、高くてかウ。  
 悪いと云は、安いものをかウ。 ） 量が関係する

生徒のワークシート④

例えば、100円バーガーと200円バーガーでは、原材料費が  
 同じで、しかし100円の方が利益率が高い。費用を削る  
 ことができるのは、広告費もあると思うが、人件費が少なくて  
 思う。安全の裏に付いた費用を削りすぎるを得ないと思う  
 ので、職場で働くにおいて環境というのは悪くなっているのでは  
 ないか。安いものは、家計的に良いと思ってしまうが、  
 安全性や栄養もとるということには欠けていると思う。それで  
 体調を崩して医療費が高くなってしまうと思うと、高いの(安全でおいしい  
 と思った方がよい)と思う。

## 4. 授業実践の課題

### 4. 1. 実践研究の成果と課題

家庭科は、生活者としての衣食住に関わる学びや家族や子供の成長に関する学習以外に、消費生活と環境に関する学びがある。生活を営む学びで、お金の勉強やキャリア教育を入れていくのは自然なことで、人は生きるために仕事をして賃金を得て、家計を工面して食べ物や生活に必要なものを購入している。今回の題材は、生活上の消費行動を学び、生きる力の育成を行い、働くことの意義を考えるキャリア教育まで学習を発展させるものとする。

生徒は格安ハンバーガーショップに行き、ハンバーガーを食べることは、日常に行われる普通のこととしてとらえている。格安なハンバーガーが世に出回り、小遣いの範囲で自由に間食として購入したり、昼食代わりに食べたりしている。生徒は一日のうちの一食ならば、栄養価についてもさほど気にすることないと感じ、気軽に食している。

そこで、身近なハンバーガーから栄養や食材の安心・安全や流通の仕組みと安価な理由などに関連させて、家庭科で取り扱う食生活や環境問題、添加物や衛生問題へと学習を発展させた。最終的には企業努力も含め、ハンバーガーの食材の価格や人件費・店舗費など経費について触れ、社会や環境への影響について生徒は考えることができた。

普段の生活の中で、栄養や安価な理由を考えながら商品を慎重に選択して購入しようとする意識を定着させるのは簡単ではない。場面や題材を変えて、繰り返し授業で取り扱う必要がある。

家庭科は、生活に密着した教科であり、すべての人が生活を経験し、生活に関係のない人はいない。キャリア教育で、お金や就労、働く意義について学ぶのであれば、それらは生活と切り離すことのできないことなので、家庭科で学ぶべき内容である。生活者として社会のことを考えて自らの生き方や生活を選択し、自己決定していく姿勢を育む。生活と生きる力を育む学びを大切に考え、家庭科の授業でも社会生活を営むための汎用性を学ぶキャリア教育として捉え、協働的な姿勢や就労に関わる学びを授業に取り組み、更に「深い学び」を追求していきたい。

### 引用・参考文献

開発教育研究会「身近のところから世界と私を考える授業」(2015) 明石書店

金融教育共同研究プロジェクト「金融リテラシーを育む金融教育カリキュラムの検討」(2015)